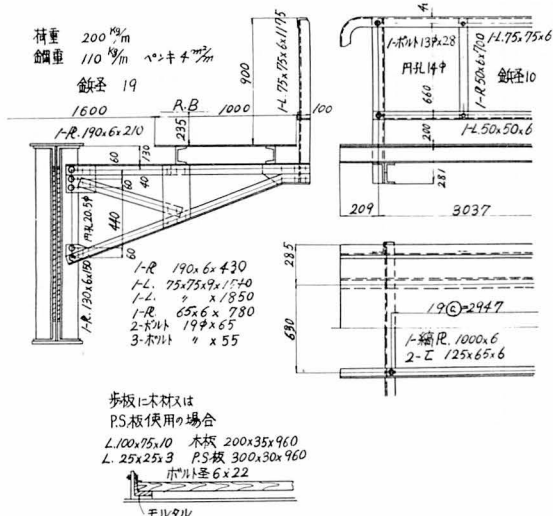
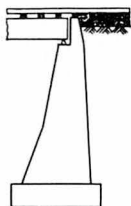


橋 側 歩 道 (本文前ページ)



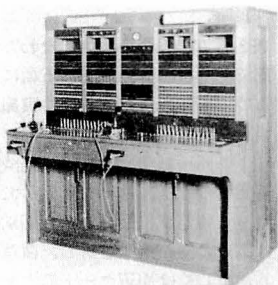
造、石造のものもあり、また鋼構造のものも 橋台(胸壁橋台)
あったが、現在はほとんどつくられない。

橋台の形式にはいろいろあるが、いちばん多く用いられているのは胸壁橋台(図)である。このほかラーメン式橋台、L型橋台も多く用いられる。また背面の土圧の影響をさけるために、盛りこぼしにした斜面内につくるスケレトン式橋台もある。(川口輝夫)



きょうでんしきこうかんき 共電式交換機

(英) common battery exchange 中継線および共電式電話機を設備する加入者線、磁石式電話機を設備する接続線を収容する交換機で、共電加入者に対して通話および信号用電源をすべて交換所から供給するため
にこの名称がある。



1. 共電式交換機外觀

磁石式交換機に比し加入者数が多く、通話のひん繁な箇所に設置されるから、一般に、1人の電話掛が交換所加入の加入者全部の呼出しが、担当座席でできるように複式ジャックを設けた複式交換機が使用される。写真-1は現在使用されている交換機の外観を示す。

共電式交換機の種別は収容回線の容量に応じて、甲種（複式回路容量1,000）、乙種（複式回路容量700）、丙種（複式回路容量480）の3種に分類され、さらに甲種、乙種は加入者台、中継台にわけられているが、丙種は加入者兼中継台となっている。また加入者台の上部に共電式加入者全容量のラインランプを集中収容し、夜間その他の閑散時に他の台の使用を停止し、この台だけですべての加入者の呼出し・応答ができるようにした台を加入者台兼集中台という。同様に中継台に集中ランプを収容した台を中継集中台という。図-2（次ページ）は丙種共電式交換機の正面を示す。

共電式複式回路は共電式加入者の呼出しに使用され各台とも

複式となっていて、話中試験はクリックテストによる。

磁石式中継線および磁石式接続線応答複式回路は、中継線・接続線の応答・呼出しに使用され、各台とも複式であり、ラインランプ、話中ランプにより呼出し・話中を表示する。

共電式応答回路は共電式加入者を各台に分割収容し、応答に使用され、ラインランプにより呼出しが表示される。

補助信号ランプはラインランプ点火のたびに点火し、電話掛に注意をあたえる。

いま加入者が呼出しのため受話機を上げると、交換機のラインランプと補助信号ランプが点火する。それにより電話掛は応答プラグをその番号のジャックにそう入するとランプは消え、結合電鍵(けん)を聴話側に倒して相手番号をきく。つぎに相手の番号のジャックに呼出しプラグをそう入すると呼出し側監視ランプが点火し、結合電鍵を信号側に倒せば相手加入者に呼出し信号が送出される。相手加入者が応答すると監視ランプが消え、電話掛は番号をたしかめ結合電鍵を旧に復せば両者は互に通話することができる。終話により加入者が受話機をかけると、それぞれの監視ランプが点火するから、電話掛は終話を確認しプラグを抜けばすべは旧に復する。なおこのほかに呼出側を呼戻すための*呼戻電鍵、呼出側・応答側を分割して電話掛が通話するために使用する*分割電鍵、他席の電話掛相互の打合せに用いる*オーダーボタン等が設備されている。このように共電式交換機は電話掛の取扱いを介して、収容回線相互を任意に接続・通話をさせることができる。(相原 茂)

きょうでんしきてんわき 共電式電話機 (英) C. B. telephone

構成上必要な条件は * 磁石式電話機と同じであるが, 両電話機の異なる主要点は, 磁石式の信号装置中の磁石発電機が, 共電式では交換機のところを集めた共同電源 (信号起電機) にかわり, 磁石式の通話用電池がやはり共電式では, 共同電池にかわって交換所に集められていることである。したがって共電式電話機は磁石式電話機よりも構造が簡単で大きさも小さくつくられている。

1. 共電式電話機

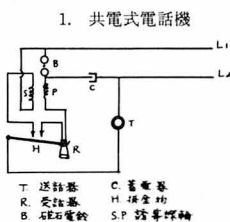


図-1はこの電話機の内部接続の基本を示す。図中磁石電鈴と直列に蓄電器を接続してあるのは、これによって常に回路に供給されている電池の電流が電鈴に流れ、電話機を使用しないときに電池を消耗するおそれのないようにしてある。相手からの信号電流や通話電流のような交流のみを通し、電池の電流のような直流を通さないのが蓄電器の特性である。写真は共電式壁掛電話機の外観を示す。この電話機は磁石式壁掛電話機よりも構造が簡単で、大きさも小さいから取付も便利である。共電式電話機は相手加入者を呼び出すために、受話器を掛金物からはずすだけで呼出信号回路ができて、信号電流が流れ交換機のランプを点じて、呼出信号をすることができるし、通話が終れば受話機を掛金物に掛けるだけで交換機側に通話の終了を知らせることができ、磁石式のように一々磁石発電機を回転する手数が省けて取扱が便利である。(川原虎雄)



2. 共電式壁掛電話機

きょうどううんゆ 協同運輸 各国の学者や交通研究者によ
って、すでに一部の学問的研究がされているにもかかわらず、
いまだ定説はなく、もちろん定義を与えたものはないが、従来